

萩市企業景況調査

DI方式

平成30年 10月～12月期 実績
平成31年 1月～3月期 予測

DI (ディフュージョン・インデックス) 方式とは？

DIは各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。

◎DI = (増加・好転など「良い」の回答割合)
- (減少・悪化など「悪い」の回答割合)

※設備投資は割合(%)

《調査機関》萩商工会議所

依然厳しい業況が続く

景況の概要

平成31年1月実施の景況調査の集計結果は以下のとおり。(調査対象企業：萩市内60社、回収率95%)

生産・売上 前期比は、全業種で増加となった(平均▲28.1%)。前年同期比では、建設業が増加、サービス業が横ばい、それ以外の業種は減少となった(平均▲22.8%)。今後(1～3月期)の見通しでは、建設業が増加すると予測し、それ以外の業種は全て悪化すると予測(平均▲40.4%)。

収益 前期比は、全業種で増加となった(平均17.5%)。前年同期比はサービス業が増加、小売業が横ばい、それ以外の業種は減少(平均▲19.3%)している。今後の見通しでは、建設業が増加すると予測し、それ以外の業種は減少すると予測(平均▲38.6%)。

資金繰り 前期比は、卸売業とサービス業が横ばいで、それ以外の業種は悪化(平均▲12.5%)。今後の見通しでは、建設業と小売業が横ばい、それ以外の業種は悪化すると予測している(平均▲21.4%)。

従業員数 全業種で不足感があるという結果となった。

経営上の問題点 ①人材の確保難 30.9%、②需要の停滞 29.1%、③人件費等経費の増加 10.9%の順となった。

今後の業界動向 各業界の景気見通しは、建設業が横ばい、それ以外の業種は停滞と予測。特に観光関連業が▲80.0%と指数が大きい。

景況に関する生の声 ■不漁だったシラス漁が持ち直したが、漁期が短いため油断できない。どんな魚種でも豊漁を祈るのみ(海産物加工)。■売上増加は喜ばしいが、人材不足からくる生産量減少が課題(木製品製造)。■公的受注の減少(事務用品卸)。■暖冬により販売不振が続いた(大型店、燃料販売)。■観光客の減少により売上に繋がらない(水産卸、専門品店)。■燃料は輸入に頼っているため常に値段の乱高下で資金繰りが困難(燃料販売)。■明治維新150年の効果が感じられない。商品構成・店舗運営等にて販路開拓を模索するも利益率が問題(特産品販売)。

項目 / 業種		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	観光関連業	平均	前年平均	前々年平均
生産・売上	前期比	44.4	40.0	20.0	10.0	12.5	40.0	28.1	28.1	28.1
	前年同期比	11.1	▲30.0	▲40.0	▲20.0	0.0	▲50.0	▲22.8	0.0	▲37.5
	31年1月～3月期見通し	22.2	▲50.0	▲60.0	▲10.0	▲62.5	▲80.0	▲40.4	▲40.4	▲33.3
収益	前期比	11.1	40.0	10.0	10.0	12.5	20.0	17.5	19.3	15.8
	前年同期比	▲22.2	▲10.0	▲40.0	0.0	12.5	▲50.0	▲19.3	7.0	▲29.8
	31年1月～3月期見通し	11.1	▲30.0	▲50.0	▲20.0	▲62.5	▲80.0	▲38.6	▲36.8	▲31.6
資金繰り	前期比	▲11.1	▲20.0	0.0	▲11.1	0.0	▲30.0	▲12.5	0.0	▲14.0
	31年1月～3月期見通し	0.0	▲10.0	▲30.0	0.0	▲12.5	▲70.0	▲21.4	▲22.8	▲21.1
従業員数 30年12月末		44.4	30.0	50.0	40.0	37.5	30.0	38.6	38.6	42.1
設備投資	(実績)	22.2	20.0	20.0	40.0	37.5	10.0	24.6	28.1	26.3
	(計画)	33.3	60.0	20.0	40.0	28.6	10.0	32.1	22.8	38.6
業界動向		0.0	▲10.0	▲70.0	▲50.0	▲75.0	▲80.0	▲47.4	▲35.1	▲40.4